

| | | | |
|-------|----------|------|----------------------|
| 講義名 | 研究演習 (経) | | |
| 講義コード | 12213 | 授業形態 | 開講期・曜日・時限 後期 月曜日 2時限 |
| 担当教員 | 植松 宏之 | 備考 | |

| | |
|-------|-------------------|
| 学部・学科 | 演習分野 |
| 経済学科 | 地域まちづくり・エリアマネジメント |

概要説明

日本の都市を取り巻く環境が大きく変化していることを日常の生活から感じる人が多いと思われる。少子高齢化により、これからの日本は人口減少が進み、2050年には1億人を切る事が予測されている。また住宅や商店街では、空き家が増加しており、防災、防犯、衛生、景観などに及ぼす影響が懸念されている。このような身近な都市の現状を振り返り、都市・交通・観光やその課題への関心「心」を持ち、地域社会の実態・現象を把握する観察・分析能力「技」を育てて、最終的に、より良い地域社会構築に参画し、また積極的に活躍できる意欲「自信」、元気の持続力「体」を旨得します。

主な卒業論文のタイトル

2021年度から新規に開講するゼミのため、これまでの指導実績はない。

教員よりの要望

ゼミで取扱うテーマは、地域まちづくり・交通・観光と多彩なので、ゼミの構成メンバーも、男女割合、体育会系・文系サークル・非所属割合、出身地(都会・地方)割合など、個性豊かな受講生の集団で、しかも一体的(仲の良い)チームができることが理想である。一般的に地域まちづくりに取り組む団体の活動は、自分のこととして考えることが重要であることから、明朗快活(明るく楽しく元気で)、ヤル気があって(チャレンジ精神)、積極的にコミュニケーションに参画できる学生を求める。

選考方法

教員からの要望で示したように、明朗快活(明るく楽しく元気で)、ヤル気があって(チャレンジ精神)、ゼミ活動に積極的に参画できる学生を求める。学部の専門分野の「学び」(基礎知識の習得を通じて、理解力・思考力・分析力を身につける)にチャレンジして、社会で即戦力になりたいと希望する学生を歓迎します。エントリーシートや個別ガイダンス等で明朗快活・ヤル気・ゼミ活動への意欲の3点を確認して選考します。

評価方法

研究演習の評価は、平常点で評価する。平常点は、ゼミでの課題演習(例えば輪読)・野外活動・フィールドワーク・ゼミ仲間との懇親会など、すべてのゼミ活動への取り組みから評価する。

| | |
|------------------|-------------|
| 教員英字氏名 | 研究室 |
| HIROYUKI UEMATSU | 研究棟 2705研究室 |

| |
|---------------------------|
| 最終学歴 |
| 1986年3月 京都大学大学院工学研究科 修士課程 |

| |
|------------|
| 学位 |
| 工学修士(京都大学) |

主な研究活動・社会活動・研究業績

- ・全国エリアマネジメントネットワーク
- ・梅田地区エリアマネジメント実践連絡会
- ・京都大学経営管理大学院 官民連携まちづくり研究会
- ・大阪大学「都市地域再生論」
- ・内閣府地域再生エリアマネジメント負担金制度有識者検討会
- ・国土交通省「新型コロナウイルス危機を契機としたまちづくりの方向性」有識者検討会
- ・関西鉄道協会「鉄道ターミナルを考える」研究会

趣味・特技

音楽鑑賞(クラシック)・サイクリング・まち歩き・美術館等鑑賞

所属

経済学部

所属学会

- ・全国エリアマネジメントネットワーク 副会長
- ・都市計画学会
- ・都市計画協会
- ・智の木協会

専門分野

地域まちづくり分野：都市地域計画、公共経営、エリアマネジメント

担当科目

前期：都市・地域計画
後期：公共経営論、防災まちづくり論、地域まちづくり概論

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。都市開発事業の実績から企業・行政で求められる能力などを具体事例を活用してゼミを行う。